

まちのたから 発見

技能五輪全国大会で金賞受賞

頓宮 正洋さん (23歳・松尾2区)



▲金賞受賞とともに厚生労働大臣表彰も受賞された頓宮さん。県知事賞も受賞されています

● 建具で金賞を受賞

昨年12月16日から19日まで開催された「技能五輪全国大会」(主催・中央職業能力開発協会・建具の部で、頓宮建具店の頓宮正洋さんが、見事金賞を受賞されました。

この大会は、次世代のものづくりを担う青年技術者が、日々の鍛錬の成果を競つもので、全国から40種目1,600人を超える選手が出場されました。2日間で提示されたデザインの問題を仕上げる工程は、図面を書くところから始まり、審査員や観客が見つめる中、最初はあせりがあったものの、手際よく進めることができたそうです。

「手ごたえは感じていましたが、まさか金賞が獲れることは」と、受賞を聞いた瞬間は非常に驚かれたそうです。

● 故郷で腕をふるいたい

部屋の家具を自分で製作されるなど、「のこぎりを入れるのは好きな作業」と、手加工の難しい作業もお手のもの。

東京で4年間、学校に通いながら修行時代を過ごし、「日野に帰って来て仕事したい」と、昨年からお父さんの指導を受けながら、ご自宅の



▲金賞受賞作品。中央部で精密に合わせる技術は大変難しいもの

● 温もりのある建具を

昔に比べて、和室がない家などが増え、建具の良さを伝える機会が少なくなっています。「これからの時代に不安を感じることはありませんが、今回の受賞は、自信につながりました」と頓宮さん。お客様のある建具を、これからもお客様に届けられます。

「豊かさは、物ではなく心」 — 桜谷小学校で「ようこそ先輩」授業を実施

浦田広美さん (小野)
青年海外協力隊員

2010年1月から2年間、南米にあるボリビアに青年海外協力隊員として赴任されていた浦田広美さん(小野)が任期を終えられ、1月30日(月)に町長を表敬訪問されました。

浦田さんは、ボリビアでごみのポイ捨て問題について取り組まれ、学校などでごみの分別の仕方を教えるなど、村落開発普及員として働かれました。

2月9日(木)に母校である桜谷小学校で5・6年生を対象に、写真や現地のものを使って、ボリビアの風土や子どもたちの学校生活などを伝える授業が行われました。

ボリビアでの経験から、「物がなくて

も家族・友達がいって温かい言葉をかけてもらえる。そんな当たり前のことに感謝して一日一日を過ごしてほしい」と、思いやりの心の大切さを子どもたちに伝えられました。



▲子どもたちにボリビアの製品などを見せながら説明する浦田さん

